

相模酒米研究会が市内福祉施設・病院などへ 海老名産甘酒を寄贈 ～栄養満点の地元の味を楽しんで～

6月7日（月）、相模酒米研究会 会長 池上貴明氏と泉橋酒造株式会社 代表取締役社長 橋場友一氏らが内野市長を訪問して甘酒約1,800パックを寄贈しました。

これは、市内の酒蔵「泉橋酒造」を含む8名の農家で構成される「相模酒米研究会」が、「海老名産の酒米で作られたノンアルコールの甘酒を幅広く楽しんでもらいたい」との思いで昨年開始したもので、福祉施設等への寄贈は2回目です。

また、今年は泉橋酒造から、新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者への感謝の思いを込めて病院等へも寄贈されます。

1 寄贈内容

海老名産「あまざけ」 約1,800パック

2 寄贈先

(1) 市内福祉施設59カ所

(高齢者施設5カ所、障がい者施設13カ所、保育園33カ所、幼稚園8カ所)

(2) 市内病院15カ所、海老名市歯科医師会、海老名市薬剤師会

3 配布日

6月10日（木）



▲左から橋場社長、内野市長、宮寄氏、池上会長



▲海老名産「あまざけ」(1パック 250g)

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市経済環境部農政課 電話046・235・8539

